

武蔵境駅南口公衆トイレ移設及び周辺整備等工事 事業概要等

1 事業概要

- ・既存公衆トイレは老朽化が激しく、現状求められているバリアフリー化が行われていない。トイレを新設(42.93㎡)し、既存トイレを解体する。それに伴う必要な周辺の整備等を行う。
- ・男性トイレ、女性トイレのほか、だれでもトイレ、お子様連れで利用できるやさしいトイレを設置する。
- ・東側に男性トイレ、やさしいトイレを、西側に女性トイレ、だれでもトイレを配置する。

2 公衆トイレ移設の経緯

- ・平成30年第4回市議会定例会で「誰もが使いたくなる「ミカレット」に関する陳情」が全会一致で採択され、市内4か所ある公衆トイレについて、トイレの洋式化、バリアフリー化などの改修を順次進めてきた。
- ・最後に残ったミカレットさかいみなみについて、建て替え工事を行うこととなり、令和元年11月から近隣の事業者、地域関係者などと協議をしてきた。
- ・トイレが都市計画道路3・4・27号線の区域に立地しており、同位置での建て替えができないので、移設場所を検討してきた。公園外への移設を検討したが、公園トイレとしてなじみがあるという声があり、公園内での移設を検討し、現在の位置となった。
- ・令和4年3月の第1回定例会において、予算を可決していただき、年度内での事業完了のため事務を進めていたところ、6月議会において「ミカレットさかいみなみ移設再考を求めることに関する陳情」が提出されたが、審議の後、不採択となった。

3 事業費用

- ・令和3年度事業 工事設計委託 869万円
- ・令和4年度事業

	工事費（工事監理含む。）
移設工事	8,539万円
既存公衆トイレ解体工事	800万円
周辺整備等工事	2,750万円

4 移設後の維持管理

- ・現在、1日に2回、便器、床の清掃などの一般的な清掃が入っているほか、年2回の排水管の清掃等が入っている。
- ・故障などについては、日常的な清掃のほか、緊急対応による市内巡回からも速やかにごみ総合対策課に連絡が入り、必要な修繕を行っている。
- ・これらについて、新しいトイレでも同等、同頻度の体制で維持管理を行う。